

# 油ヶ淵水辺公園



## 施設利用について

### ●禁止事項について

- ・バーベキューや花火等火気類の使用。
- ・車道以外の車(二輪車・自転車等含む)の走行。
- ・洗車、駐車場開門時間外の駐車。
- ・釣り等の捕獲行為。
- ・植物などの採取、野鳥や魚などへのエサやり。
- ・ドローン、ラジコンヘリなどの飛行。
- ・ゴルフの素振り等の練習、スケートボード、エアガンの使用。
- ・無断での行商・募金・ロケーション・興行・集会などの行為。

### ●公園のマナーについて

- ・来園者がお互い楽しく利用できるよう、マナーを守りましょう。
- ・他人の迷惑となる行為や危険な行為はしないでください。
- ・ゴミ・空き缶類は、各自お持ち帰りください。
- ・犬などペットのフンは、飼い主が責任をもって片付け、持ち帰ってください。また、リードは必ずつないでください。
- ・指定された場所以外での喫煙はご遠慮ください(受動喫煙防止)。
- ・植物を大切に、傷つけないようにしましょう。

### ●駐車場の利用について ※駐車場でのトラブル等については、責任を負いません。

開門時間	仮 7時～19時 (3～9月) 仮 7時～18時 (10～2月)		
駐車台数	普通車	身障者用	大型車用
自然ふれあい生態園	162台	4台	10台
水生花園	54台	3台	0台

## 交通案内

### 広域交通



### 周辺交通



### お問合せ先

愛知県 建設部 公園緑地課  
TEL: 052-954-6525(ダイヤル) http://www.pref.aichi.jp/koen/  
愛知県 知立建設事務所 都市施設整備課  
TEL: 0566-82-6493(ダイヤル) http://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiryu-kensetsu/

## 「油ヶ淵」の名前の由来

むかしむかし、油ヶ淵がまだ内海であった頃、今の応仁寺(碧南市油淵町)の前に貧しく身寄りのない母子がすんでいました。岬の一軒家に住む子供は漁師であり評判の親孝行者で、母は非常に子煩悩で貧しいながら平和に暮らしておりました。

母は夜沖合いで魚をする息子の身を気遣い、神仏に無事を祈っていました。その甲斐あってか、息子が漁に出た夜は、岬の端に明るい燈明(とうみょう)が輝くようになりました。

人々は淵の主である龍が娘に姿を変え、油を買い、あかりをともしたのであろうと噂するようになり、この岬を油が崎というようになり、そして幾年か後には淵の名を油ヶ淵と呼ぶようになったと伝えられています。



川船(カフムシ)  
(安城市歴史博物館所蔵)



油淵碑(油ヶ淵遊園地)

## 油ヶ淵の誕生と移り変わり

油ヶ淵一帯は約400年前までは北浦と呼ばれる海の入江でした。江戸幕府によって慶長10年(1605)に矢作新川が開削されると、北浦の河口付近に上流の土砂が大量に流れこむようになり、北浦の東口に当たる米津から鷲塚の間が約10年の間に埋め尽くされてしまい、陸続きの半島に変わってしまいました。また、北浦一帯も年々水浸しとなったため、幕府は正保元年(1644)に米津から鷲塚の間に堤防を築き、北浦は海から断ち切られて湖沼となりました。これが油ヶ淵のはじまりです。

ところが海への出口をとぎされた油ヶ淵へ、長田川、稗田川、高取川、半場川、朝鮮川などの川の水が注ぎ込み、その上、矢作川の河床より湖面が低かったため、雨が降った時には沿岸の村々は水害により大きな被害を受けました。そのため、鷲塚村上流を掘割って、現在の蜷川に相当する海への排水路をつくりました。しかし、新たな水田開墾が進み、1本の排水路だけでは足りなくなったため、新たに衣浦港へ排水する現在の新川に相当する排水路が宝永元年(1704)に建設されました。

明治14年(1881)には明治用水が通水し周辺の新田開発が活発となり、明治用水の落ち水が稗田川、長田川、半場川、朝鮮川を通じて油ヶ淵へ流入するようになりました。



寛文2年 池廻り絵図写(排水路予定図)  
碧南市蔵

しかし、一度豪雨になると沿岸の水田は冠水し農作物への被害が続くため、昭和6年に高浜川の開削工事が始まり昭和10年に完成し現在の形になりました。

# 水生花園

花や植栽により  
季節感あふれる  
風景を楽しむ場

バス停  
油ヶ淵遊園地



四阿・バス池

ドンダリの丘



# 自然ふれあい 生態園

油ヶ淵の自然環境を  
再生した身近な生き物との  
触れ合いの場



ドンダリの丘

プロムナード



水生花園

自然ふれあい  
生態園

- 案内看板
- 駐車場
- AED
- 休憩所
- 多目的トイレ
- トイレ
- おむつ交換台

